特集

海外の水道事業体の環境に関する取組

東京都水道局では、国際会議等の機会を通じて、海外の諸都市の水道事業体と情報共有や意見交換を行っています。このページでは、2025年度訪問した、フランスのパリ市の取組について特集します。



フランス・パリ市中心部を流れるセーヌ川

基本情報※

水道事業体	パリ（Eau de Paris）	東京（水道局）
給水人口（万人）	211	1,395
管路延長（km）	1,998	28,438
職員数（人）	867	3,478
一日平均配水量（千㎥/日）	476	4,221

※「事業概要 令和８年版」参考資料　1　統計資料（５）海外都市の水道より

環境対策の取組

Eau de Parisでは、パリ市内に約10万個のスマートメータを設置し、現地を訪問することなく高頻度かつ詳細な使用データを取得することで、効率的な水道事業運営を実現しています。

また、音響センサーを活用した漏水検知にも取り組んでおり、管路管理の省人化・省力化を進めています。さらに、使い捨てプラスチックボトルの削減を目的として、Eau de Parisと提携する約1,000店舗のショップ、カフェ、レストラン等が無料で水道水をボトルに補給するサービスを提供する環境キャンペーンを実施しています。このほか、市内各所に設置された飲料水の補給スポット「フォンテーヌ」など、水道水利用の促進や環境負荷低減に向けた取組がなされています。

今後も海外の先進事例を積極的に調査し、水道局における、脱炭素化の推進、資源循環の促進など、持続可能な水道事業の実現に向けた取組へ活かしていきます。



Eau de Parisが管理するフォンテーヌは市内約1,200か所
（うち17か所では炭酸水も提供）